

小型月着陸実証機「SLIM」が文部科学大臣賞を受賞 —第54回日本産業技術大賞、SJACより推薦—

令和7年4月2日、「第54回日本産業技術大賞」贈賞式が、文部科学大臣政務官 赤松 健氏を来賓に迎え、経団連会館にて開催されました。

本賞は、日刊工業新聞社の主催により、日本の産業技術の発展に顕著な貢献を果たした技術・製品・研究開発成果を表彰するものです。

このたび、宇宙航空研究開発機構（JAXA）を中心に開発された小型月着陸実証機「SLIM（Smart Lander for Investigating Moon）」が、文部科学大臣賞を受賞いたしました。

受賞にあたっては、JAXAをはじめとする以下13機関が表彰されました。

- ・三菱重工業株式会社
- ・株式会社IHIエアロスペース
- ・明星電気株式会社
- ・シャープエネルギーソリューション株式会社
- ・古河電池株式会社
- ・株式会社コイワイ
- ・日本積層造形株式会社
- ・三菱電機ソフトウェア株式会社
- ・三菱電機エンジニアリング株式会社
- ・三菱電機ディフェンス&スペーステクノロジー株式会社
- ・菱電湘南エレクトロニクス株式会社

本受賞は、当会（一般社団法人日本航空宇宙工業会／SJAC）の推薦により応募されたものであり、我が国の宇宙技術に対する社会的評価の高まりと、その産業的価値を象徴する快挙といえます。

〈文部科学大臣賞〉小型月着陸実証機「SLIM」

- ・国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA）
- ・三菱電機株式会社



SLIM（実機）



月面に着陸したSLIM



贈賞式の様子



SLIM関係者での1枚

SLIMは、従来の「着陸できるところに着陸する」という発想を超えて、「着陸したい場所に確実に着陸する」ことを実現するため、世界でも類を見ない高精度着陸技術を搭載した月面探査機です。2024年1月には、実際に月面へのピンポイント着陸を達成し、世

界初の技術実証として国内外から高い評価を受けました。

SLIMの開発は、JAXA宇宙科学研究所（ISAS）がプロジェクトを主導し、三菱電機株式会社が着陸機のシステム開発・製造を

担当し、機器レベルでは、三菱重工業株式会社、IHIエアロスペース、古川電池などが参画しました。

これまでに蓄積された日本の宇宙関連技術の集大成であるとともに、将来の月・惑星探査への技術的礎を築く取り組みでもあります。

SJACとしては、SLIMプロジェクトが我が国の産業技術における革新性、技術的完成度、国際的インパクトを高く評価し、本賞への推薦を行いました。今回の受賞は、我が国の宇宙開発における確かな実力を国内外に示

すものであり、会員企業を含む宇宙産業全体にとっても大きな励みとなるものです。

SLIMは、日本が独自に育んできた宇宙技術の粋を結集した素晴らしい技術実証であり、この成果を起点として、今後、日本の月探査分野におけるプレゼンスが一層高まり、さらには民間を含めた宇宙産業の新たな展開・産業化へと発展していくことを、当会としても心より祈念いたします。

SJACは、今後も宇宙産業界の横断的な連携を通じて、我が国の航空宇宙産業の更なる発展と国際競争力の強化を目指してまいります。

〔(一社)日本航空宇宙工業会 技術部 部長(宇宙担当) 中村 陽一郎〕